

斜里町ふるさと応援寄附 寄附金の使い道

| 資金区分 | 概要 |
|-------------------------|---|
| みどり基金 | 世界自然遺産知床を有する斜里町。自然やそこに暮らす野生動物と人とが共存するために必要な自然環境、「みどり」を守る事業に活用します。 |
| しごと基金 | まちを支える農業、漁業、商工業、観光業等の産業基盤の構築や担い手育成をはじめとした町民と観光客のための「しごと」の維持・発展に活用します。 |
| くらし基金 | 斜里町で長く快適に暮らすことができる住環境や社会基盤の整備、防災など安心安全な斜里町の「くらし」を維持する事業に活用します。 |
| いきいき基金 | 自分らしく健やかに「いきいき」と暮らせるような医療体制の充実や日々の健康づくり、子育て環境の整備等に活用します。 |
| まなび基金 | 町民の「まなび」の充実のため、こどもたちの学習環境整備や公民館活動の充実、図書館や博物館等の展示や居心地の良い環境整備等に活用します。 |
| ちょうみん基金 | 地域のコミュニティ活動や姉妹町・友好都市をはじめとした多様な交流、移住者との交流等の「ちょうみん」が主役となるまちづくり事業に活用します。 |

自然と共に生きることができる住みよいまちをめざす ふるさと応援「みどり」基金

自然と共に生きることができる 住みよいまちをめざす

知床世界自然遺産 # 野生動物
環境保全 # 再生可能エネルギー
ヒグマ # 共存 # リサイクル
ごみ減量 # 地球温暖化防止



ふるさと応援・「みどり」基金



知床世界自然遺産 を有する斜里町。北の大地の原風景とも言える豊かな # 自然とそこで暮らす多様な # 野生動物 との出会いを求めて、国内外から多くの観光客が訪れます。町の重要な基幹産業である農業、漁業、観光の基盤でもあり、町民の暮らしを支える豊かな自然を守る取り組みを実施します。

- 原生的な自然環境をはじめ身近な緑地、河川海洋等の # 環境保全
- 国内トップクラスの高密度で生息する # ヒグマ との # 共存 のための対策
- 利用目的の多様化に伴う利用規制地域への立ち入りの制限
- 利用者が放置したごみや海洋漂着物などの # ごみ減量
- 公害の発生を未然に防ぐための施設の監視、監督、指導の実施
- 再生可能エネルギー導入をはじめとした # 地球温暖化防止 対策
- 資源物の分別による # リサイクル の推進や再生品の利用の推進
- ごみのポイ捨てや不法投棄、野外焼却の根絶

上記をはじめとした自然保護関連施策に活用します

令和6年度活用事業

知床国立公園指定60周年・知床世界自然遺産登録20周年事業

総事業費4,872千円／充当額2,850千円

知床国立公園60周年を記念したイベントを関係機関と連携して実施し、知床の自然環境の価値を広めます。

市街地ヒグマ対策強化事業 総事業費2,881千円／充当額2,881千円

地域住民の安心・安全な生活を守るため、市街地のヒグマ電気柵を新設・更新します。また、ウトロ市街地の草刈り及び枝払いの実施により地域の安全を守ります。

ヒグマDNA分析事業 総事業費800千円／充当額400千円

知床地域に生息するヒグマのDNA分析等の研究経費として活用します。

足腰の強い産業をめざす ふるさと応援「しごと」基金

足腰の強い産業をめざす

産業基盤整備 # 担い手育成
知床しゃりブランド
産業連携 # 地産地消
テレワーク # 就労者支援



ふるさと応援・「しごと」基金



斜里町は良好な自然環境に恵まれた農林漁業による一次産業を基礎として、加工業等の二次産業、これに関連した三次産業が発展しています。また、世界自然遺産知床を中心とした観光産業も盛んであり、斜里町産業の維持と発展のため**# 産業基盤整備**と維持、発展のための施策が必要です。

- 各産業（**農業、水産、林業、商工業、観光業**）の振興と資源の活用
- 認定**# 農業**者の育成支援、遊休農地の発生防止や農地集積事業の推進
- 漁港やふ化場、**# 漁業**関連施設の整備と適正な維持管理
- **# 森林**作業路等の整備、森林資源の有効活用と生産基盤の近代化
- 中心市街地活性化によるにぎわいの創出や地場**# 産業**の活性化
- **# 観光**ルート整備や地域産業景観の観光資源化、空港からの二次交通確保
- **# 知床しゃりブランド**をはじめとしたブランド力や付加価値の向上
- 新規**# 就労者支援**のための移住者の受入促進や町内への定住促進

上記をはじめとした産業振興施策に活用します

令和6年度活用事業

ブランディング等地域活性化事業 総事業費19,563千円／充当額2,000千円

地域プロジェクトマネージャーを中心に、サステナビリティな町として都市部の若年層に意識されるブランドになるよう、地域の魅力を新たに発掘して表現・発信していきます。

さけ・ます自然産卵環境保全拡大事業 総事業費768千円／充当額768千円

さけ・ますの自然産卵環境を調査し、遡上障害となっている落差を改善すること等で、資源の底上げと安定化を図ります。

快適なまちをめざす ふるさと応援「くらし」基金

快適なまちをめざす

公営住宅 # 道路整備 # 除雪体制
海岸保全 # 河川管理 # 公園緑地
避難所 # 案内標識
情報通信基盤 # 防災対策
防災備蓄品 # 消費者保護
上下水道



ふるさと応援・「くらし」基金



高齢化社会に配慮したまちづくりや、多発する自然災害へ備えるため、防災の視点から町内施設の機能強化、消防・救急体制の整備、老朽化した施設や設備の改修・長寿命化など、斜里町で長く快適に暮らすことができる住環境や社会基盤の整備が求められています。また、生活に欠かすことのできない水を安定供給するため、老朽化した配管を更新する必要があります。

- 建設から年数が経過した**# 公営住宅**の計画的な建て替えや改修の実施
- 未舗装道路の舗装化や歩道バリアフリー整備をはじめとした**# 道路整備**
- **# 除雪体制**維持のため除雪機械の更新や除排雪を担うオペレーター確保
- **# 海岸**浸食の状況把握や**# 河川**の流水、橋梁等の工作物の維持・管理
- 老朽化した公園施設の再整備や**# 公園緑地**化、遊具の再整備
- 公共施設や**# 避難所**をわかりやすく案内する**# 案内標識**の整備
- 情報化社会における利便性向上のための**# 情報通信基盤**の整備
- 施設の耐震強化や避難誘導看板の整備、避難経路確保などの**# 防災対策**
- 災害時円滑な初期対応のため必要な**# 防災資機材の備蓄**・管理
- **# 消防救急資機材の更新**や救助現場対応のための隊員の育成
- 消費者として生活していく上での不安を解消する相談窓口の設置
- 生活に欠かせない**# 上下水道**の管理、適正な運営

上記をはじめとしたくらしの環境整備等の施策に活用します

令和6年度活用事業

公園整備事業 総事業費3,500千円／充当額3,500千円

公園・広場に設置されている老朽化した遊具を更新し、子どもたちの安全・安心な遊び場の維持に努めます。

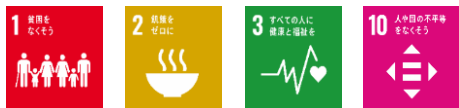
斜里地区消防組合負担金 総事業費170,504千円／充当額7,800千円

老朽化したはしご車を地域特性に対応した屈折はしご車に更新し、高層建築物のほか中層建築物や一般住宅の火災の対応、また、一般救助活動にも活用し多種多様な災害に対応します。

いきいきと自分らしく健やかに暮らせるまちをめざす ふるさと応援「いきいき」基金

いきいきと自分らしく 健やかに暮らせるまちをめざす

国保病院 # 地域医療体制
高齢者福祉 # 介護予防
介護人材 # 障害者福祉
子育て支援 # 保育の充実
障害児支援



ふるさと応援・「いきいき」基金



町民がいきいきと自分らしく健やかに暮らすため、医療や介護に頼らない健康づくりをめざし、町民が自ら取り組む健康づくり事業を推進しています。また、こどもたち一人一人が斜里のまちで未来を生きる力をしっかり育むことが出来るよう、保育・子育て環境の充実に取り組みます。

- # 国保病院の診療体制維持のための医師・医療従事者の確保
- 中核病院等との広域連携の強化や# 地域医療体制の維持向上を図る
- # 高齢者が自立した生活を送れるよう社会参加できる環境整備
- # 介護予防活動の展開、在宅サービスの充実等の事業を展開
- 介護職場で働く人や担い手の確保、労働環境等の整備
- 保育周辺業務の効率化、# 保育環境の整備による保育の充実
- 妊娠・出産・子育て期を通じた切れ目のない# 子育て支援
- 親子の居場所づくりの推進
- 適正な相談・支援の充実、療育内容の充実などの# 障害児支援

上記をはじめとした医療、福祉、子育て関連施策に活用します

令和6年度活用事業

保育ICT事業（常設保育園・へき地保育所） 総事業費615千円／充当額615千円
ICTを活用した保育業務システムを導入し、保育業務の効率化と保育の質の向上を図ります。

小中高生の外来医療費無償化事業 総事業費25,274千円／充当額25,274千円
安心して子育てができるよう、小学生から高校生までの医療費を無償化し、費用の心配をせずに必要なときに医療機関を受診できる環境を整備します。

心豊かにつながり学び合うまちをめざす ふるさと応援「まなび」基金

心豊かにつながり 学び合うまちをめざす

学校教育
教育環境向上 # 郷土学習
地域教育力 # 公民館 # 図書館
博物館 # 文化芸術 # スポーツ



ふるさと応援・「まなび」基金

斜里町らしさあふれる教育活動を通じたふるさとに誇りを持てる**#郷土学習**や、ゆめホール知床で行われる文化公演や**#公民館**活動の充実、町立**#図書館**で有意義な時間を過ごせるような環境の整備、知床**#博物館**の展示や発信する情報の充実、文化的資料の保存などに取り組みます。

- 子どもたちの**#学力向上**に向けた体制整備や教員の学び合う環境整備
- 地域の専門機関や人材とのネットワークによる**#教育環境向上**
- 地域課題を取り上げた講座・講演会・事業を通じた地域活動の実施
- 地域や社会全体で子育てを支援する取組みの充実
- **#公民館**での生涯学習活動の推進、芸術文化活動や団体の育成支援
- ライフステージに応じた**#スポーツ**活動の推進
- 知的好奇心に応える資料と情報を提供する場としての**#図書館**の整備
- 文化財や歴史資料、標本、自然環境等の研究や公開環境の整備

上記をはじめとした教育、芸術文化等の関連施策に活用します

令和6年度活用事業

学習用デジタルドリル等整備事業 総事業費4,256千円／充当額2,228千円

教職員が児童生徒に対する個別の学習支援や、児童生徒自身の自立した学びを促進するため、全ての町立学校に学習用端末でデジタルドリルの利用可能な環境を整備します。

図書館みらいキャンパス実施事業 総事業費1,694千円／充当額565千円

町内の小中学生を対象に、放課後に対話や勉強をすることができる「有人の公設的な活動室」を設置。学習サポートや対話を通して自ら学び・考える学習環境を整備します。

大学連携推進事業 総事業費969千円／充当額969千円

北海道大学との包括連携協定を基盤として、研修・研究活動を発展させるとともに、北見工業大学との連携を強化し、地域課題の解決や人材育成など、多様な領域での連携を深めることを目指します。



町民が主役になって住みよいまちをめざす ふるさと応援「ちょうみん」基金

町民が主役になって 住みよいまちをめざす

情報公開 # 広報 # ホームページ
協働 # 地域活動 # 交流 # 移住
姉妹町・友好都市 # 自治会活動



ふるさと応援・「ちょうみん」基金



行政情報をわかりやすく適正に伝えるための情報伝達、町民の**# 協働**による町政運営、町民が主役となったまちづくりの推進、**# 自治会活動**への参加、**# 姉妹町・友好都市**との交流、斜里町に魅力を感じ**# 移住**を検討している方の受け入れ、定住の推進などに取り組みます。

- 多様な手段を利用した町政**# 情報公開**や提供制度の充実
- パソコンや携帯電話を持たない高齢者への情報伝達手段の検討・整備
- 町政への参加と**# 協働**を進めるための人づくり、活動の支援
- 地域住民の連帯感を高める**# 地域活動**、コミュニティ活動の支援
- **# 姉妹町・友好都市**との交流を通じた歴史・自然・文化・芸能への理解
- **# 移住**関連情報の発信や来町者への情報発信の充実
- 計画的な行政運営、事務処理の効率化

上記をはじめ広報広聴や交流関連施策に活用します

令和6年度活用事業

弘前市との青少年交流事業 総事業費3,500千円／充当額3,500千円
弘前市との友好都市盟約40周年を記念し、こどもたちのアートを通じた交流の場を設け、両市町の間より一層の強い絆を結ぶ機会をつくります。